

埼玉大学大学院理工学研究科と台湾交通大学理学院との ダブルディグリープログラム実施要項

〔平成26年8月29日〕
理工学研究科教授会了承

(趣旨)

第1 国立大学法人埼玉大学大学院理工学研究科規程(以下「規程」という。)第3条第5項の規定に基づく台湾交通大学理学院とのダブルディグリープログラム(以下「ダブルディグリープログラム」という。)の取扱いについては、大学間協議により締結する交流協定その他特別の定めによるほか、この要項の定めるところによる。

(志願手続)

第2 ダブルディグリープログラムの履修を志願する者は、次の書類を指定の期日までに理工学研究科長(以下「研究科長」という。)に提出するものとする。

- (1) ダブルディグリープログラム履修申請書(別紙様式)
- (2) その他研究科長が必要と認める書類

(選考)

第3 ダブルディグリープログラムを履修する学生の選考は、理工学研究科教授会(以下「研究科教授会」という。)の議を経て、研究科長が行う。

(授業科目、単位数及び履修方法)

第4 ダブルディグリープログラムの授業科目、単位数及び履修方法は、別表のとおりとする。

(未修了の扱い)

第5 ダブルディグリープログラムの履修を取り辞めた場合の履修方法は、規程に定める各コースの履修方法によるものとする。

(事務)

第6 ダブルディグリープログラムの事務は、理工学研究科支援室において処理する。

(その他)

第7 この要項に定めるもののほか、ダブルディグリープログラムに必要な事項は規程の定めを適用する。

附 則

この要項は、平成26年8月29日から施行し、平成26年度にダブルディグリープログラムを履修する者から適用する。

別表

授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必 修	選 択	
Seminar	書報討論－應用化學組 I	1	修了要件 必修科目 12 単位び Seminar 科目より 2 単位、Colloquium 科目より 2 単位、統合科目 より 8 単位を含め、30 単 位以上修得のこと。ただし、 各コースのダブルディグリー プログラム関連科目を含 めることができる。 ★印の科目は各コース等の ダブルディグリープログラ ムの関連科目。
	書報討論－應用化學組 II	1	
	書報討論－合成組 I	1	
	書報討論－合成組 II	1	
	書報討論－合成組 III	1	
	書報討論－分析組 I	1	
	書報討論－分析組 II	1	
	書報討論－無機組 I	1	
	書報討論－無機組 II	1	
	書報討論－物化組 I	1	
	書報討論－物化組 II	1	
	書報討論－物化組 III	1	
	書報討論－物化組 IV	1	
	儀器分析專題討論 (一)	1	
儀器分析專題討論 (二)	1		
Colloquium	專題講演 (有機・無機・高分子) I	1	
	專題講演 (有機・無機・高分子) II	1	
	專題講演 (物化・分析領域) I	1	
	專題講演 (物化・分析領域) II	1	
統合科目	固 体 物 理 I	2	
	固 体 物 理 II	2	
	固 体 物 理 III	2	
	固 体 物 理 IV	2	
	半 導 体 物 理 I	2	
	半 導 体 物 理 II	2	
	半 導 体 物 理 III	2	
	半 導 体 物 理 IV	2	
	生 理 学 I	2	
	生 理 学 II	2	
	生 理 学 III	2	
	生 理 学 IV	2	
	形 態 形 成 学 I	2	
	形 態 形 成 学 II	2	
	形 態 形 成 学 III	2	
	形 態 形 成 学 IV	2	
	表 面 物 理 化 学 I	2	
	表 面 物 理 化 学 II	2	
	表 面 物 理 化 学 III	2	
	表 面 物 理 化 学 IV	2	
	量 子 化 学 I	2	
	量 子 化 学 II	2	
	量 子 化 学 III	2	
	量 子 化 学 IV	2	
界 面 化 学 I	2		
界 面 化 学 II	2		
界 面 化 学 III	2		
界 面 化 学 IV	2		
(生体制御 学コース)	★形態形成学特論	2	
	★植物細胞生理学特論	2	
	★形態形成学輪講 A	2	
	★形態形成学輪講 B	2	
	★植物細胞生理学輪講 A	2	

	★植物細胞生理学輪講 B		2	
	植物細胞形態学特論		2	
	植物成長生理学特論		2	
(機能材料工学コース)	★光物性工学特論		2	
	★薄膜表面工学特論		2	
	半導体物性特論		2	
	無機・有機エレクトロニクス特論		2	
	ナノ界面工学特論		2	
(化学系専攻・コース共通科目)	★量子化学特論		2	
	統計熱力学特論		2	
	界面計測特論		2	
	界面物理化学特論		2	
	界面分光光学特論		2	
	顕微界面分光光学特論		2	
	非線形化学特論		2	
	反応量子化学特論		2	
(基礎化学コース)	★ナノ化学輪講 I a		1	
	★ナノ化学輪講 I b		1	
	★ナノ化学輪講 II a		1	
	★ナノ化学輪講 II b		1	
(応用化学コース)	★分子化学輪講 III		2	
	★分子化学輪講 IV		2	
	★ナノ化学輪講 III		2	
	★ナノ化学輪講 IV		2	
	★マクロ化学輪講 I		2	
	★マクロ化学輪講 II		2	
(台湾交通大学)	有機光譜特論		3	
	質譜學		3	
	量子化學		3	
	化學熱力學		3	
	線性代數		3	
	光化學原理		3	
	分子成像和分析導論		3	
	有機金屬化學		3	
	生化分析		3	
	層析學		3	
	分子光譜		3	
	雷射生物奈米科學		3	
	物化特論－顯微分光導論		3	
	計算化學		3	
	特別研究	12		

ダブルディグリープログラム履修申請書

提出日： 令和 年 月 日

学籍番号		所属	理工学研究科 博士前期課程 専攻 _____ コース 第 _____ 年次			
フリガナ			男 ・ 女	生年月日 (年齢)	昭和	年 月 日
氏 名					平成	(才)
現在の 連絡先	〒 _____ 電話番号： _____ E-mail： _____ 研究室内線： _____					
指導教員						
国内緊急 連絡先 (留学期間中)	フリガナ				本人との関係	
	氏 名					
	〒 _____	電話番号： _____				
生活費の 支弁状況	1. 奨学金による 2. 親からの仕送り 3. アルバイト等					
語学能力	自己評価（該当するところに○印を付すこと）					
	言語名	話す	聞く	読む	書く	
	英 語	優 良 劣	優 良 劣	優 良 劣	優 良 劣	
	()	優 良 劣	優 良 劣	優 良 劣	優 良 劣	
語学能力検定の結果等						
派遣大学	台湾交通大学					
派遣時期	年 月 日 ～ 年 月 日					
受入先 教員氏名						

DOUBLE DEGREE PROGRAM (Master's Course) APPLICATION FORM

Date of Submission : _____

Student ID number		Department Major			
Name			Male Female	Date of Birth	/ /
Current Address	TEL : _____ E-mail : _____				
Supervisor's name					
Emergency Contact Address in Japan	Name			Relationship	
	TEL : _____				
Method of Support to pay for expenses while in Japan		1.scholarship 2.remittance 3.part time job etc.			
Linguistic talent	Self-assessment (Rate your proficiency)				
	Name of Language	Speaking	Listening	Reading	Writing
	English	A B C	A B C	A B C	A B C
	()	A B C	A B C	A B C	A B C
	Results of language proficiency test, if any				
Period of Study in Saitama University	year	month	day	~	year month day
Scheduled Academic Supervisor in Saitama University					